

第3回冠攣縮研究会・プログラム

7月26日(土) 17:00 ヒルトン東京 3階「桂 / 春日」

1. 開会の挨拶 (17:00 ~ 17:05)

東北大学 下川宏明

2. 事務局より 症例登録の進捗状況について (17:05 ~ 17:30)

冠攣縮研究会事務局 安田聡 (東北大学)

3. 一般演題 (17:30 ~ 18:45) (発表7分・討論5分)

座長: 熊本大学 小川久雄

- 1) 広島大学循環器内科・寺川宏樹: シスプラチンに関連した冠攣縮
- 2) 新居浜病院循環器科・末田章三: カルシウム拮抗薬処方減少が異型狭心症の再燃を生む?
- 3) 昭和大学藤が丘病院循環器内科・若林公平: 冠スパズムで心肺停止をきたしたと考えられた若年女性心筋梗塞の1例
- 4) 杏林大学第2内科・永井亘: 冠攣縮性狭心症の診断が確定し治療が開始されたにもかかわらずVFを発症した39歳女性例
- 5) 東北大学循環器内科・高橋潤: 院外心停止例に対する冠攣縮誘発試験・電気生理学的検査の意義
- 6) 慶応義塾大学呼吸循環器内科・富樫郁子: 心臓突然死を初発症状とする冠攣縮症例

休憩 (18:45 ~ 19:00)

4. 特別講演 (19:00 ~ 20:00)

座長: 東北大学 下川宏明

Professor Attilio Maseri (University Vita Salute, San Raffaele Hospital)

Title: TBA

5. 閉会の挨拶 (20:00 ~ 20:05)

熊本大学 小川久雄

6. 情報交換会 ヒルトン東京 4階「菊フォイヤー」